

滋賀



志望校選びのポータルサイト

中学受験.JP

私立中学の学校情報、
受験に役立つコラムなどを掲載！

中学受験JP

検索



天気

きょう

6時

9

12

大津

24
18

80

☀

☀

☀

彦根

24
19

80

☀

☀

☀

難聴の児童 多彩な創作44点



個展会場で犬のオブジェを抱く山中祈さん—彦根市竹ヶ鼻町で

「イノリヤマナカ」初の個展

リエセピア」を訪問。代表の銅版画家、小柳優衣さんから月2〜4回、創作指導を受けるようになった。

個展会場には紫地に黄文字で「イノリヤマナカ」と大書した看板を掲げている。まず一抱えもあるピンク色の犬が目を引く。1対四方の折り紙で作った青い鳥は、木工の止まり木に設置している。友人と芋掘りした思い出をイラストや、抽象的な水彩画でそれぞれ表現した。このほか、ザリガニやペンギンなどが遊ぶ島の模型▽極彩色のティッシュを貼り合わせた鳥オブジェ▽こいのぼりや握りずしの粘土細工—など奔放な発想の作品が並んでいる。

細工など多彩な計44点を一堂に紹介している。入場無料。20日正午まで。

山中さんは知的障害を伴う自閉症スペクトラム障害(ASD)も抱え、乳幼児期はハイハイやお座りも苦手だった。それでも壁に無心で落書きする様子に母早希さん(42)が気づいた。2020年末に近所の「アート

学校でも体育が不得意だったが、最近腕を回したり、鉄棒に飛びついたりもできるようになった。「のびのび絵筆を振るうことが体の発達も助けているようです。作品発表を機に、ますます創作に熱が入りそうです」と早希さんは目を細める。

【伊藤信司】

彦根

県立豊話学校
小学部2年の山

中祈さん(7)は彦根市平田町IIがビバシティ彦根2階(JR南彦根駅前)で初の個展を開いている。難聴などのハンディがあるが民間の教室で美術に目覚め、生き生きとした表情で過ごせるようになったという。水彩画、紙オブジェ、粘土

20日まで・ビバシティ